

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

ワークショップ 9	
企画名	Dr.Gに挑戦！難問・奇問・コモンまで、腹痛に強くなる！
日時	2017年5月13日(土) 10:30～12:00
会場	第10会場 (JRホテルクレメント高松 2F 小宴会場「雅」)
企画責任者	林 寛之(福井大学医学部附属病院)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>外来で遭遇する腹痛の約10%は診断がつかないといわれます。よくある疾患でもきちんとした病歴や身体所見が診断の手掛かりになるのは言うまでもないですが、思いつかなければなかなか診断がつかないというのも事実です。このWSでは落とし穴にはまりやすい腹痛のEBMを理解し、腹痛診療が楽しくなる頭と体を使った戦い方を伝授します。高齢者や小児、女性に多い特殊な腹痛や『謎の腹痛』まで病態生理を理解して、超音波も駆使した診断治療法に迫ります。一度経験さえすれば明日からの臨床に生かして、目の前の患者さんに明るい未来を提供できるはずです。</p> <p>単に診断するための手技ではなく、問診でいかに掘り下げるかにも迫りますので、最前線の臨床で戦っている先生方には是非参加していただきたく思います。尚、このWS終了後には腹痛診療が楽しみになってムズムズ脚症候群になる副作用がでるかもしれませんのでご注意ください。</p>	
<p>【概要】</p> <p>WS形式でグループに分かれてディスカッション形式で開催します。参加者皆さんの知恵を集結し、相互補完的に話を盛り上げていきましょう。</p> <p>1) 高齢者の腹痛 高齢者の腹痛は非典型例が多く、若い人のようにすっきりしゃっきりと所見がそろそろ訳ではありません。AMPLEのみならず、高齢者の生活史まで食い込んだアプローチをしましょう。</p> <p>2) 小児・女性の腹痛 小児も非典型例が多いです。腸重積と虫垂炎だけでは乗り切れません。女性特有の4大腹痛は見逃せません。女性は謎めいた方がいいですが、腹痛の謎は解明していきましょう。</p> <p>3) 謎の腹痛 一般的な解剖学的なアプローチではどうも診断がつかない腹痛の問診や診察の落とし穴を勉強しましょう。知識があるだけで患者さんが恩恵を受けられれば医者冥利につきますねえ。ドクターGでは実に3時間も議論していますが、このWSでは簡略化してエッセンスだけお届けします。</p> <p>※参加型のため、見学は不可とします。</p>	